



松田権六の仕事場

関連資料展示

会期：2024.9.6 – 12.1

松田権六の道具

左ケース

- 1：鯨箆（くじらべら）
- 2：中尊寺金色堂の解体修理の時に出てきた平安時代の
刷毛を模して作られた刷毛
- 3：檜の皮で作った箆
- 4：上塗り専用の刷毛
- 5：地塗り専用の刷毛
- 6：細く塗るための刷毛
- 7：小刷毛
- 8：あしらい毛棒（けぼう）・・・蒔絵粉を扱うための筆の一種
- 9：鼈甲製の蒔絵筆用の洗い箆
- 10：大小の針金で作られた「引掻き」用筆
- 11：ぶんまわし・・・コンパス
- 12：犬牙（けんき）・・・柄の先に犬の牙を取り付けた道具
- 13：鯛牙（たいぎ）・・・柄の先に鯛の牙を取り付けた道具
- 14：各種蒔絵筆
- 15：粉筒（ふんづつ）
- 16：塗師刀（ぬしがたな）
- 17：槍鉋（やりかんな）
- 18：彫刻刀や各種の切出小刀

遺愛の品々

- 19：フェルト帽
- 20：腕時計
- 21：筆記用具
- 22：眼鏡

粉筆笥の引出

中央ケース

- 23：粉鎮（ふんちん）
・・・蒔絵用の金銀粉を入れた粉包みを押さえるために用いる重し
- 24：粉匙（ふんさじ）・・・蒔絵用の金銀粉をすくうのに用いる小さじ
- 25：鳥軸製粉筒
- 26：爪盤（つめばん）・・・蒔絵を描く際に漆をのせておく小さなパレット
- 27：あしらい毛棒
- 28：払い毛棒

松田権六と工芸作品にみる風景

中央ケース

- 29：松田権六《片身替塗分漆碗》1939年頃
 - 30：中国視察写真
 - 31：松田権六《三保の富士蒔絵棗》1977年
 - 32：三保の富士蒔絵棗の図案
 - 33：三保の富士蒔絵棗の記
- 【参考資料】
- 34：ぶらじる丸一等船客食堂中央壁面飾附蒔絵屏風の図版
 - 35：松田権六《帆船茶器》未完

右ケース

- 36：松田典男《蒔絵飾箱 家路》1988年
- 37：藤井観文《片切沈金金華山棗》1967年
- 38：磯井正美《蒔醬野分食籠》1973年頃
- 39：加藤土師萌《仿嘉靖黄地赤彩菊牡丹文角皿》1953年

蒔絵で使われる素材

- 40：夜光貝
- 41：貝の真珠層部分を薄くはいだもの
- 42：アワビ
- 43：メキシコアワビ
- 44：卵殻（ウズラ）
- 45：象牙
- 46：平文用の各種素材